

加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和8年
9月9日
No.10



「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」の結果から

1学期に「全国学力・学習状況調査」(国・算6年生対象)、三重県作成のテスト「みえスタディ・チェック」(国・算・理5年生対象、国・算4年生対象)を行い、前学年までに学習したことの定着度をはかりました。子どもたちは、最後まで真剣に取り組んでいましたが、記述問題において無回答も見られました。また、この調査では、学力面だけでなく、生活習慣や学習環境等に関する児童質問紙調査も行われました。

「全国学力・学習状況調査」の結果、国語において全国平均正答率を上回りました。「みえスタディ・チェック」の結果は、5年生の算数・理科、4年生の国語・算数において県平均正答率を上回りました。一方で、問題別に見てみると、以下のように正答率の高い問題(強み)と正答率の低い問題(弱み)が明らかになりました。これらの結果を授業改善や今後の取組に活かしていきます。

教科に関する調査結果より

※全国平均・県平均と比較して15ポイント以上差があるものをあげました。
※「○」は、強み 「●」は、弱み

	6年	5年	4年
国 語	【知識及び技能】 ○漢字を文の中で正しく使う。 【話すこと・聞くこと】 ●資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 【読むこと】 ●文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめる。	【知識及び技能】 ●漢字を正しく書く。 ●主語と述語の関係に注意して、文を正しく書く。 	【知識及び技能】 ○漢字を正しく書く。 ○主語と述語の関係を捉える。 ●中心となる語や文を見つけて要約する。 【話すこと・聞くこと】 ●話し合いの内容を捉えてまとめる。 【読むこと】 ○考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉える。
算 数	【数と計算】 ○ $7/3$ と $7/4$ のどちらが大きいかを判断し、わけを書く。 ○示された情報を基に数量の関係に着目して、条件に合う時間を求める。 【変化と関係】 ●混み具合を求める式の意味について理解する。 ●基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶ。 【図形】 ●体積の意味について理解する。 ●直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する。	【数と計算】 ○ 316×24 の計算をする。 ● $4.6 - 0.21$ の計算をする。 ○58674を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選択する。 ● $1.5 \div 3$ の式で求められる問題を全て選択する。 ○色をぬった部分の長さが $3/4\text{m}$ を選択する。 【測定】 ●午前10時40分から午後1時15分までの時間を求める。 【データの活用】 ○折れ線グラフや棒グラフから、必要な情報を読み取る。 ●二次元表に示された数の意味を捉え、グラフと関連付ける。 【図形】 ○分度器の目盛りを読み、 180° より大きい角の大きさを求める。 ○長方形を組み合わせた図形の面積を求めるためにたての長さを表す式を書く。 ○示された図形の面積の求め方を解釈し、言葉と数、記号を使って説明する。	【数と計算】 ○ 34×27 の計算をする。 ○6は2の何倍かを求める。 ○ $12 \div 3$ の式で求められる問題を選択する。 ○数直線上の数を分数で書く。 【測定】 ○午前10時45分から午後1時30分までの時間を選択する。 【図形】 ○二等辺三角形を描くための頂点を2つ選択する。 ○縦3cm、横5cmの長方形のまわりの長さを求める。

	5年
理科	【生命】 ○野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ。 ●調べた結果について考察する際、どのような視点を基にまとめた内容なのか選ぶ。 【粒子】 ○台ばかりの目盛りを読む。 ○ランドセルを背負って体重計に乗ったときと同じ重さになる体重計の乗り方を選ぶ。 ●水の温まり方について問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、その内容を記述する。 ○水の蒸発や結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ。 【エネルギー】 ○ゴムの力で動くおもちゃを高く飛ばすための適切な方法を表す言葉を書く。

質問紙調査による結果より

※肯定的回答が90%以上のものは「○強み」、70%以下のものは、「●弱み」としてあげました。

	6 年	5 年	4 年
自己肯定感 など	○将来の夢や目標を持っている。 ○人が困っているときは進んで助ける。 ○人の役に立つ人間になりたい。 ●自分にはよいところがあると思う。	○将来の夢や目標を持っている。 ●自分にはよいところがあると思う。	○将来の夢や目標を持っている。 ○自分にはよいところがあると思う。
地域や社会 に関わる活 動の状況	●地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う。	○地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う。	○地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う。
学習習慣・ 読書習慣	○平日、1 時間以上勉強をする。 ●休日、1 時間以上勉強をする。 ●学校の授業時間以外に、10 分以上読書をする。	○平日、1 時間以上勉強をする。 ●休日、1 時間以上勉強をする。 ○学校の授業時間以外に、10 分以上読書をする。	●平日、1 時間以上勉強をする。 ●休日、1 時間以上勉強をする。 ○学校の授業時間以外に、10 分以上読書をする。
学習活動	○ICT 機器を使って文章作成、情報収集、情報整理、プレゼンテーション作成ができる。 ●自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ●分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する。 ●授業で学んだことを、次に学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりする。 ●国語、算数、英語の勉強は好き。	●国語、算数の勉強は好き。	○国語、算数の勉強は好き。
学校生活	●学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを活かして解決方法を決めている。 ●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。		

課題分析と今後の取組



これらの学力調査の結果は、調査した学年だけのものではなく、全ての学年の指導の在り方に関わってくるものです。また、学年や個人によって違いはありますが、今回明らかになった課題を全教員で共有し、全学年の毎日の授業において授業改善に取り組みます。また、質問紙調査から見えてきた課題に対しても、学校、家庭、地域が連携・協力しながら取組を進めていきます。



課題分析

【国語】

- ・基礎的な力（文中の意味に合った漢字を書く、主語・述語の関係を捉えるなど）を定着させなければならない。
- ・文章の中心となる語や文を捉えて要約したり、話し合いの内容を整理してまとめたりする力を伸ばす必要がある。
- ・資料や文章から必要な情報を取り出し、それを根拠として自分の考えをまとめ、相手に分かりやすく表現する力の育成が必要である。
- ・「考えと理由・事例との関係」を捉えたり、文章を読んで理解したことを基に自分の考えをまとめたりするなど、根拠を明確にして考える力を育てる必要がある。

【算数】

- ・四則計算、小数、分数など、当該学年で身に付けるべき基礎的な知識・技能の確実な定着を図ることが必要である。
- ・時刻や時間、体積など、数量の関係を捉え、式や図の意味を理解する力を育てる必要がある。
- ・答えを求めるだけでなく、「なぜその式になるのか」「どのように考えたのか」を言葉や数、図などを使って説明する

【理科】

- ・観察・実験の結果を基に、どのようなことが分かったのかを考察する力に課題が見られる。
- ・既習の知識と観察・実験の結果を関連付けて、根拠を基に説明する力を伸ばす必要がある。
- ・「知識を覚える」だけでなく、身近な現象と結び付けて活用できるようにする必要がある。

【質問紙】

- ・将来の夢や目標をもっているものの、自分のよさや成長を実感する機会が十分でない児童もいる。
- ・平日、休日ともに家庭学習、読書習慣には個人差が見られ、学習習慣の定着に課題がある。
- ・国語・算数の学習に対する好意的な意識が低い傾向にある。
- ・「自分で学び方を考え、工夫すること」「学んだことを次の学習や生活に生かすこと」について更に伸ばしていく必要がある。
- ・地域や社会をよくするために何かをしてみたいという意識を、具体的な行動につなげる必要がある。

今後の取組

☆基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・各学年で身に付けるべき学習内容を明確にし、一点集中タイムや補充学習、家庭学習を充実させ、繰り返し学習する。
- ・チャレンジタイムで「学-Viva」などのプリントに取り組む。

☆「読む・考える・表現する」学習の充実

- ・授業の中で考える（自分の考えや理由を一文にまとめる、メモに書く）過程を大切にしたい学習活動を継続する。
- ・各教科の授業において、文章や資料から必要な情報を読み取り、既習事項と関連付けながら考え、根拠を明確にして自分の考えを「書く・話す・説明する」活動を意図的に設定する。
- ・児童同士がペアやグループで互いの考えを交流し、比較・検討する場面を大切にする。
- ・友だちの考えを聞いた後、その考えを説明する場面を設定する。

☆「式・図・言葉」を関連付けた指導

- ・「なぜその答えになるのか」を言葉や式で説明する場面を設定し、思考の過程を大切にしたい授業づくりを進める。

☆問題解決の過程を大切にしたい授業

- ・観察・実験の結果を基に、「結果」「結果からわかったこと」を自分の言葉でまとめる活動を充実させる。
- ・結果と既習事項を関連付けて考え、根拠をもって説明する場面を設定する。

☆家庭学習の習慣化に向けた取組

- ・「何をどのように学ぶか」を自分で決める自主学習を推進したり、授業と連動した復習を基本として毎日続けることを重視したりして、家庭学習に取り組ませる。
- ・繰り返し反復練習をし、できるようになったことを実感することで学ぶことへの自信につなげられるように家庭と協力して取り組む。

☆自己肯定感の涵養に向けた取組

- ・係活動、委員会活動、行事などでの一人ひとりの役割を明確にし、「自分が役に立った」という実感を持たせる。
- ・教員や友だちからの肯定的なフィードバックを意識的に増やし、「努力した過程」「まわりの人への貢献」などを言語化する。
- ・「できた・分かった」という学習上の成功体験、友達や周囲から認められる経験、誰かの役にたったという経験、自分の成長を振り返る機会を意図的に設定する。

☆地域と連携した取組

- ・地域の方との交流や地域の方の思いにふれたりする機会を通して、地域のよさや課題に気づかせる。